実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和 7 年度
助成団体	一般社団法人 Believe
事業細目名	総合型地域スポーツクラブ活動基盤強化
事業名	一般社団法人 Believe 活動基盤強化事業
助成金額	990,000 円

総合型地域スポーツクラブ活動助成（活動基盤強化事業）で一般社団法人 Believe が行っている「一般社団法人 Believe 活動基盤強化事業」の実施状況について調査を行いました。

令和 4 年に設立された総合型スポーツクラブで、現在は約 60 名の会員が在籍しており、キッズスクール、バルシューレスクール、ピラティス教室の活動を行っています。

調査当日はキッズスクール教室を見学しました。体育館で保護者の方が見守る中、幼児 8 名が参加しており、指導者の合図のもと跳び箱やカラーコーンを使った遊びなどの運動を楽しみながら行っていました。

クラブの課題としては人口減少の影響などで会員を継続的に確保していくことが難しくなっていることが挙げられていました。地域住民のスポーツに対する意欲は高いものの、既存の専門種目を扱うスポーツクラブとの住みわけという点も、会員確保に苦慮する一因となっていることが伺えました。

■助成の意義

くじ助成を受けたことで、教室に必要なスポーツ用具の購入ができるようになり、教室活動で使用するための会場使用料の支払いに充てることができたとのことです。また、広告に予算をかけられるようになることで、より認知度の向上に繋がるとともに、イベントや体験会への参加者の増加につながったとのことです。また、今秋開講したピラティス教室には幅広い年代の方の応募があり、定員を超える希望者が集まるという効果もあったようです。

■事業効果を高めるための取り組み

定期教室のみならず、イベントや体験会の取り組みに力を入れており、年に一回行政と協力して全世代型の運動会を実施したり、地域スポーツを活性化するための活動を行ったりと、認知活動に努めているとのことです。また、他県の総合型スポーツクラブとの交流にも力を入れており、情報交換を行うことで、総合型クラブとしての質向上を目指されているようでした。

■その他

今後は SNS 広告を活用した取り組みや、行政とタッグを組みながら、クラブの会員増加を目指し、子どもを中心とした運動環境の創出に努めていきたいとのことです。また、行政からの指定管理等も視野に含めながら自主活動を続けていく意向で、積極的に行政と連携を取りながら地域

住民の居場所づくりとして、多くの方が参加しやすいような環境づくりに力を入れているようでした。

■所感

今回調査した一般社団法人 Believe は幼児から小学生を中心に活動を行っておりました。子どもの運動低下が叫ばれる中、行政と協力した運動会の開催など独自の取り組みを積極的に行うことで差別化を図ることにより、スポーツを通じて地域を盛り上げようという熱意が感じられました。今後は多くの世代の参加も見込まれており、引き続き地域住民が楽しめる場として発展していくことを期待しています。

（令和 7 年 10 月 29 日往査）

（写真）キッズスクール教室の様子	
	